



おおにしの笑顔

第6号 令和5年7月18日 文責 恩田

- ⓪ もいやりのある正しい子
- ⓫ おきな声であいさつする子
- ⓬ なんと強くかしい子
- ⓭ しっかり体をきたえる子

7月朝会の話「言霊（ことだま）」について

2年前にも言霊の話をしましたでしたが、1，2年生にも伝えなかったのと、言葉の大切さ（言葉遣いの大切さ）はしっかり憶えていて欲しいので、今年も話をしました。

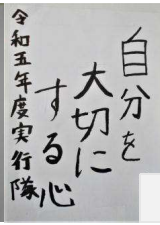
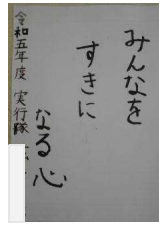
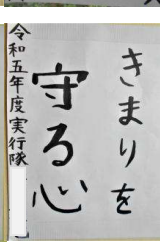
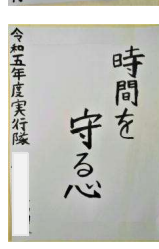
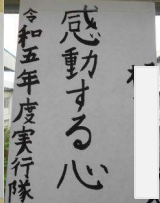
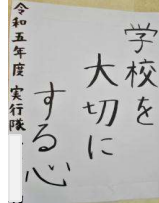
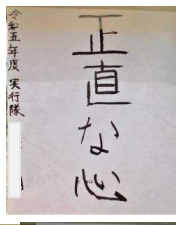
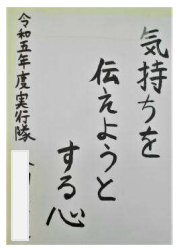
昔の日本人は、言葉のことを「言霊（ことだま）」と言って、言葉には不思議な力が宿っていると信じていました。言霊とは、言葉一つ一つには力があって、その言葉を使うと、その通りになるという考えです。「良い言葉」を言っていれば良い結果になり、「悪い言葉」は悪い結果になるので言うてはならないという考え方です。「行ってきます」は、「今から出かけます、そして必ず無事帰ってきます」という意味が込められている言霊だそうです。

この、言霊の考え方のように、言葉には本当に大きな力があります。きれいな言葉を使っていると、心のきれいな人になります。汚い言葉を使っていると心の汚い人になってしまいます。明るい前向きな言葉をたくさん使えば、明るい前向きな人になります。逆に暗いマイナスの言葉、後向きな言葉を使えば、暗い後ろ向きな人になってしまいます。「**使っている言葉の通りの人になる**」のです。

だから、明るい前向きな言葉、相手が嬉しくなるような良い言葉を使うと、自分が幸せになれます。「おはようございます」というあいさつ言葉は、「こんなに早くからご苦労さまでございます。」という、早くから活動している人へのねぎらいの言葉です。「こんにちは」は「今日のご機嫌いかがですか」と相手を気遣う言葉なんです。あいさつはすべて、相手への思いやりや感謝の気持ちを表した言葉でできています。だから、言霊の考え方からいっても、あいさつはたくさんたくさん言った方がいい。他にも、前向きな良い言葉をたくさん使って、自分の未来を明るく変えるのです。**言葉の力は人生を変えるほど、大きなものなのです。**これは、現代では、脳科学的にも心理学の研究からも正しいと言われていることです。

言霊に関係する今年の6年生の実行隊の活動を紹介します。まず、始業式で話した「恩送り」を書いて、校舎内に貼ってくれました。それから、道徳で勉強する大切な心も書いて貼ってくれました。言葉は書くことでも言霊の力が現れます。また、名前を書いてくれたのが本当に素晴らしい。名前をきちんと書くというのは、書いたことに責任を持つということです。正々堂々としていて、とてもかっこいいです。

校長先生は、西小のみんなに本当に幸せになってほしいのです。大人になってずっと幸せな人生を歩んでほしいです。だから、みんな、良い言葉をたくさん使って、幸せになってください。



夏休みを迎えるにあたって

これから夏休みになり、子供たちは長い時間ご家庭や地域で過ごすこととなります。「夏休みのしおり」や学年通信等のおたより、7月14日付けの町教育委員会からの通知メール等をご確認いただき、「規則正しい生活」や「安全な生活」に加え、「言葉の大切さ」についてもご家庭で話し合い、思いやりにあふれた言葉を使えるようにご協力をよろしくお願いいたします。ご家族で有意義な夏休みをお過ごしください。

※休み中、お子さんのことで心配なことがありましたら、平日8:20~16:50に、学校(TEL62-3537)にご連絡ください。<8/10~16は学校は閉庁のため、緊急の場合は役場(63-3111)まで>